

## MOTORCYCLE 1年を迎えたモーターサイクルレーシングスクール。

# RACING SCHOOL

### ●レース界の底辺拡大を願って——

昨年6月号のARAI NEWSで初めてとり上げさせていただいたレーシングスクールも、83年7月19日に第1回目のスクールが開かれてから、はや1年が立ちました。今回は、その中間報告をさせていただきます。開校のそもそものきっかけは、世界のスターを夢みながらフランスにて散った石川岩夫選手のチャレンジを無駄にしないためにも日本レース界の底辺を広げ、世界的スターの卵を育てることはできないか、と考えた時でした。その折も折、モータースポーツの育成に燃えるフリーランスプランニングからレース走行の基本を教えるスクールを作りたい」と、プランを打ち明けられました。これこそ望んでいたことと賛同し、ARAIが援助を申し出て歩み出したのが、レーシングスクールの始まりです。

●そうそうたるメンバーの協力も得たこの1年。レーシングスクールの目的は、モータースポーツの健全な育成をはかるため、レーサーを目指す人たちにレースライディングの基礎知識やテクニックを教えると共に、レー

シングライダーとしてのモラルを向上させること。そしてしっかりと技術と精神を兼ね備えたライダーで、レース界の底辺を広げることにあります。いつかその頂点が、世界のトップレベルまで育っていくことを願ってのスタートでした。このような趣旨にご賛同いただき、情熱的にスクールを引っばっていただいたのが、神谷忠校長をはじめ、金谷秀夫、清原明彦などのそうそうたる面々です。その他にも数多くの著名なライダーの方々に、講師としてご協力いただきました。

●連帯意識、モラルの向上もハッキリと。スクール卒業生はすでに500人を越え、ノービスライダーとして活躍する人も数多くいます。またスクール卒業生の間には、クラブ単位というワクを越えた広い交友関係も芽ばえ、いい意味でのライバル意識など連帯意識も育ってきています。これらはノー



金谷講師

ビスライダーのモラル低下が懸念されている中で、よりよい方向に向かうあらわれと話題にもなっています。スクールの卒業生でも、レースに出場しない人ももちろんいます。しかしスクールの教えは、公道走行上での危険回避テクニックやライダーとしてのモラル向上につながっており、決して無駄にはなっていません。またスクールのもう一方の活動でもあるオフィシャルの育成も、徐々に成果をあげています。そしてこのような、地道ながら熱意ある努力を続けていくうちに、

レーシングスクールの主旨に賛同し、協力して下さるとい個人・団体、そして企業もしいにふえてきました。世界のトップライダーを育てるためにも、こうして協力していただける方がふえるということは、大変喜ばしいことです。いつかスクールの卒業生の中から、世界GPで日の丸を上げてくれる日がくることも、夢みられるようになってきたこのごろです。



### ●さらにARAIは、応援を続けます。

現在スクールは月2回のペースで筑波サーキットで開かれています。受講者は予約のキャンセル待ちをする人も出るほどの盛況ぶりです。スポーツランド菅生でもすでに開校され、この夏には合宿形式のスクールも開かれます。また秋には西日本のライダーを対象としたスクールも予定されているそうです。このように、フリーランス・プランニングの運営の下でますます活発に行動し始めた1年でした。ARAIも、モータースポーツの健全な発展を心から願う1人として、このスクールを微力ながら応援し続けるつもりです。ご期待ください。



スタート実技



神谷校長